

市内中小企業景況調査報告書

令和2年 1月～ 4月 実績

令和2年 5月～ 8月 見通し

令和2年 5月

江別商工会議所

目 次

I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業 況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

I 調査要領

1. 調査対象

- ・市内中小企業 400企業
- 【内訳】
 - ・製造業 80企業
 - ・卸売業 50企業
 - ・小売業 69企業
 - ・サービス業 101企業
 - ・建設業 100企業

2. 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・調査票発送日 令和2年4月13日
- ・調査票回答期限 令和2年5月7日

3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	80	43	53.8%
卸売業	50	21	42.0%
小売業	69	35	50.7%
サービス業	101	44	43.6%
建設業	100	48	48.0%
合計	400	191	47.8%

※ 本調査結果報告書中の「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

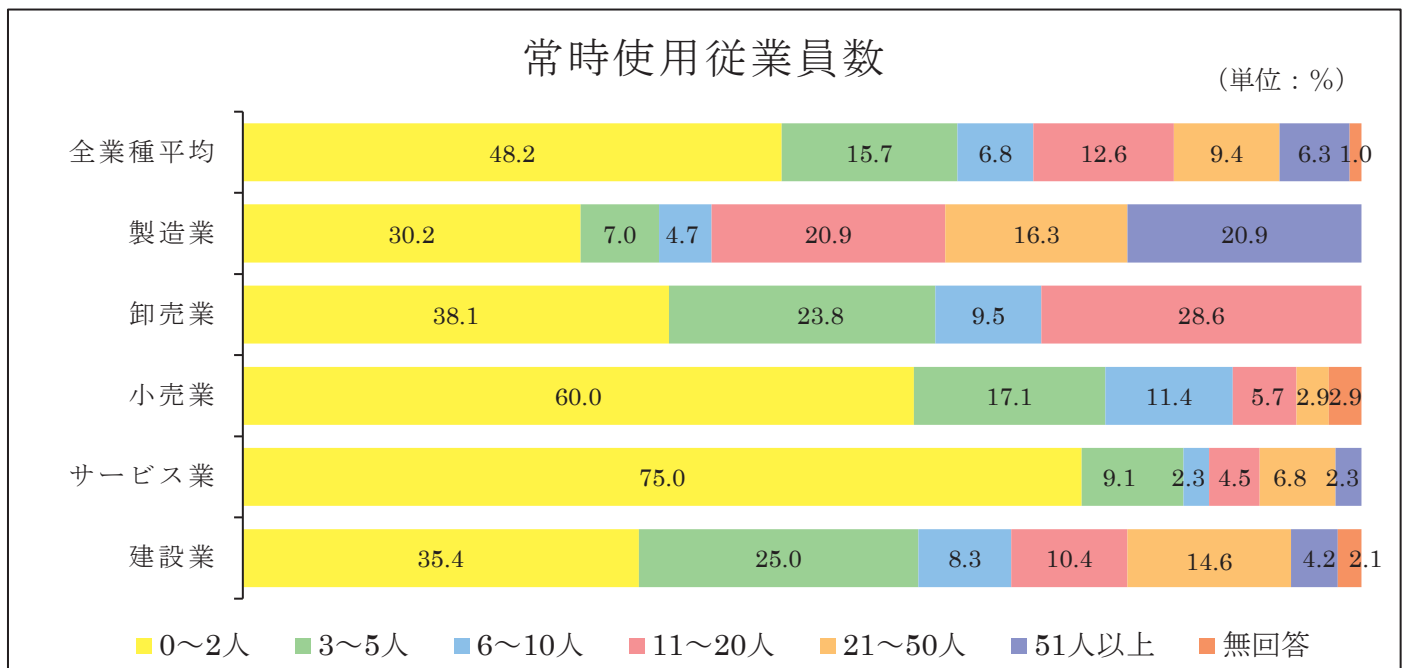
※ 本調査結果報告書中の「前回」とは、令和元年12月（令和元年9月～12月）を示し、「前年同期」とは、平成31年4月（平成31年1月～4月）を示す。

II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約83%を占めており、そのほとんどが小規模企業であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



2. 業況

内閣府が発表した月例経済報告（令和2年4月発表）によると、設備投資はおおむね横ばいになったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費と企業収益は急速に減少、雇用情勢も足下では弱い動きがみられ、企業の業況判断は急速に悪化している。倒産件数もこのところ増加がみられるなど、景気は感染症の影響により、急速に悪化しており極めて厳しい状況にある。先行きについては、感染症の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれ、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意するとともに、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるとされている。

北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和2年5月発表）によると、民間設備投資は「増加している」との判断が続き、生産活動と住宅建設については「弱い動きとなっている」が継続された。企業倒産については「件数、負債総額とも減少している」との判断になったものの、公共工事においては「減少している」に下方修正され、個人消費は「弱い動きとなっている」となり4月に続き下方修正となった。雇用動向も4月に続いて下方修正され「弱い動きがみられる」となり、有効求人倍率は1.09倍と前年同月比0.10ポイント減少し、3か月連続で前年を下回った。道内経済は、新型コロナウイルス感染症などの影響により、弱い動きとなっており、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響の拡大、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとさ

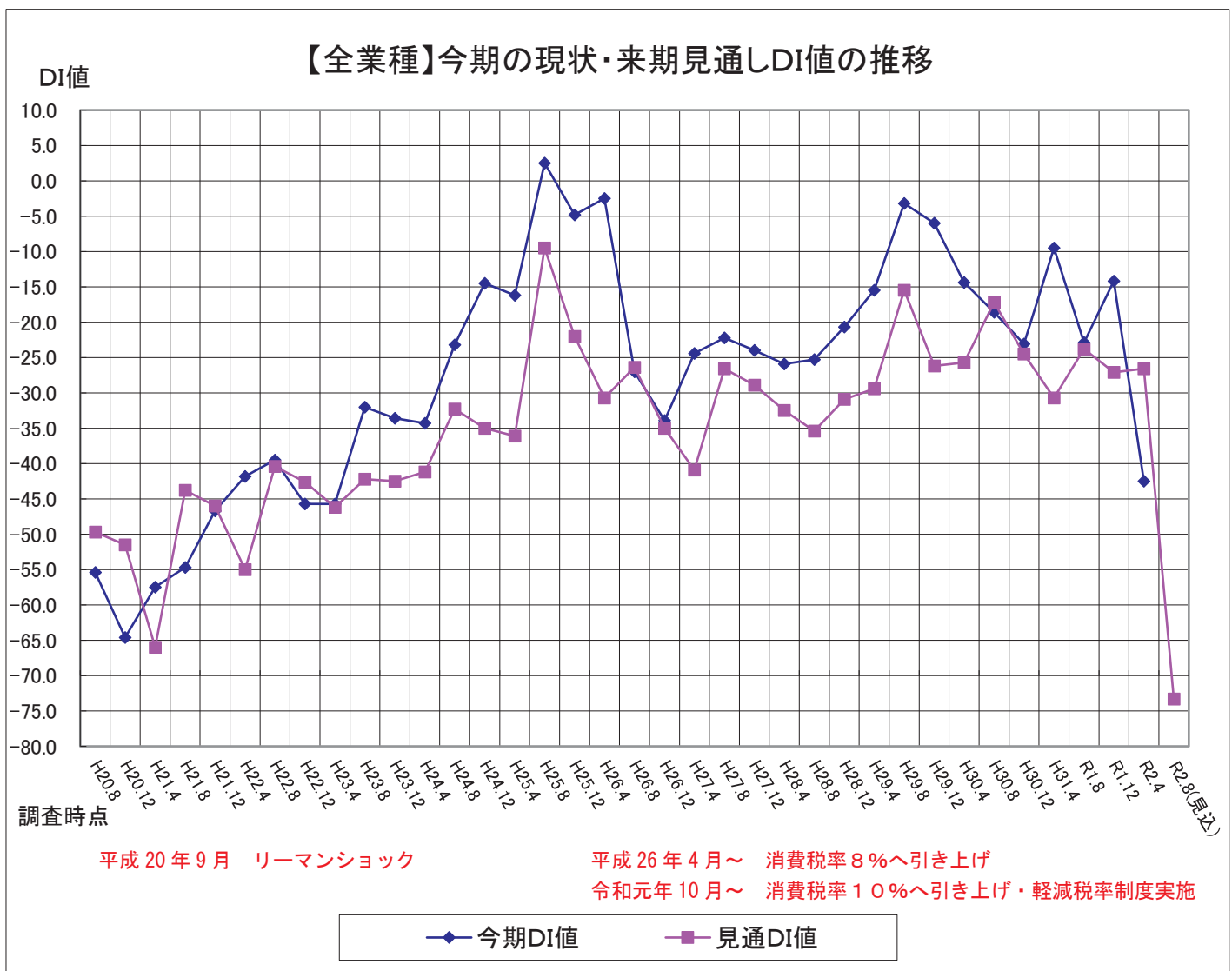
れている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和2年1月～4月）では、全業種平均の今期業況DI値は△42.5と前回（令和元年12月期）△14.2に比べ28.3ポイントの大幅な悪化となった。業種別に見ても、製造業で16.6ポイント、卸売業で46.4ポイント、小売業では20.6ポイント、サービス業では43.1ポイント、建設業では18.4ポイントと全ての業種で大きく悪化した。また、今期業況DI値を前年同期（平成31年4月期）の調査結果と比較しても、製造業で26.5ポイント、卸売業で33.3ポイント、小売業で12.1ポイント、サービス業で47.1ポイント、建設業で37.6ポイントの悪化となっている。今期の景況感は全業種で悪化しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい結果となった。

来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると、サービス業でほぼ同水準の見通しとなったほかは、製造業で27.9ポイント、卸売業で47.6ポイント、小売業で51.4ポイント、建設業で39.4ポイントと大幅な悪化の見通しで、先行きに対しては感染症の影響による極めて厳しい見方となっている。

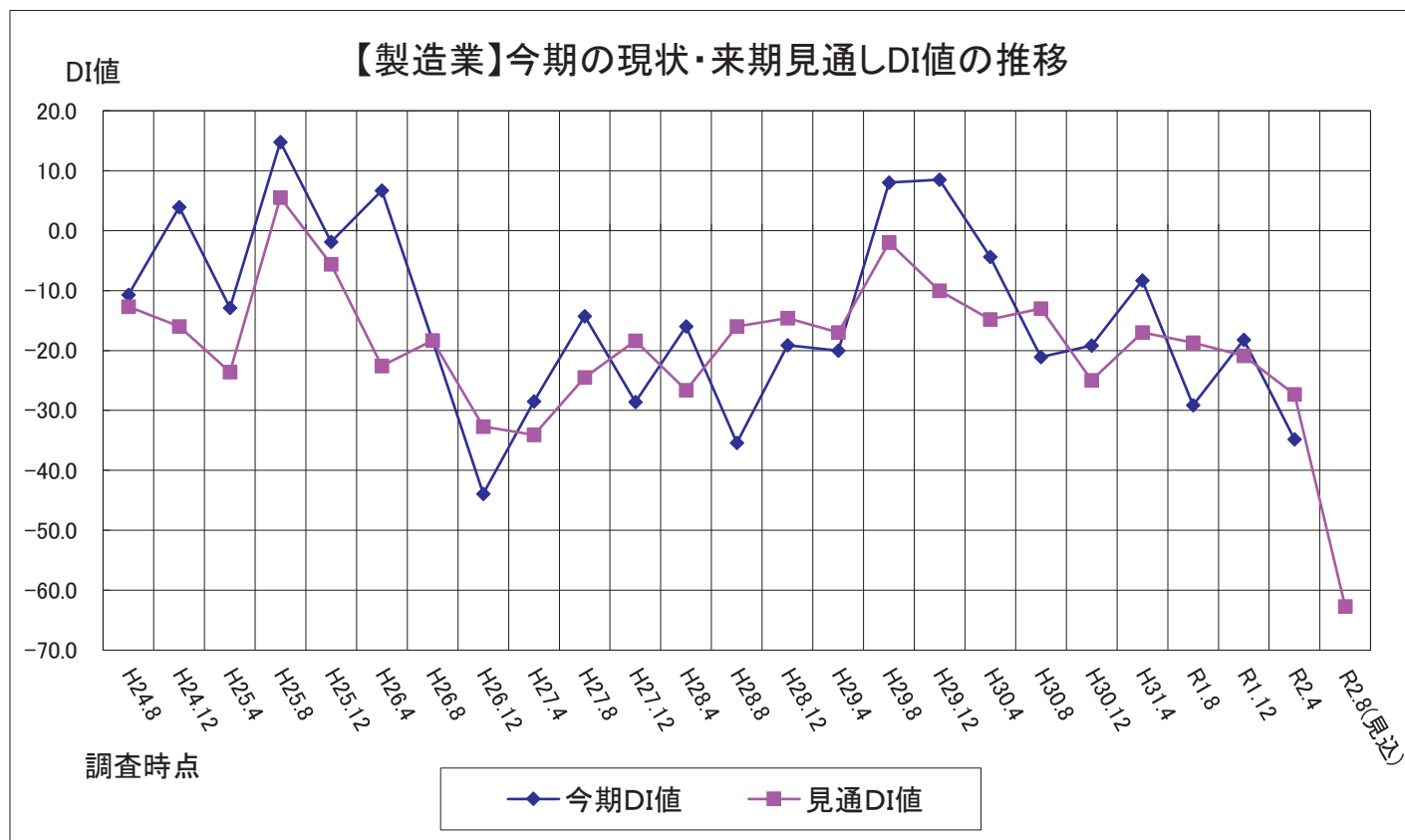
全業種平均

- ・今期DI値は△42.5となり、前回より28.3ポイント、前年同期より33.0ポイント悪化。
- ・来期DI値は△73.3となり、今期より30.8ポイント悪化。



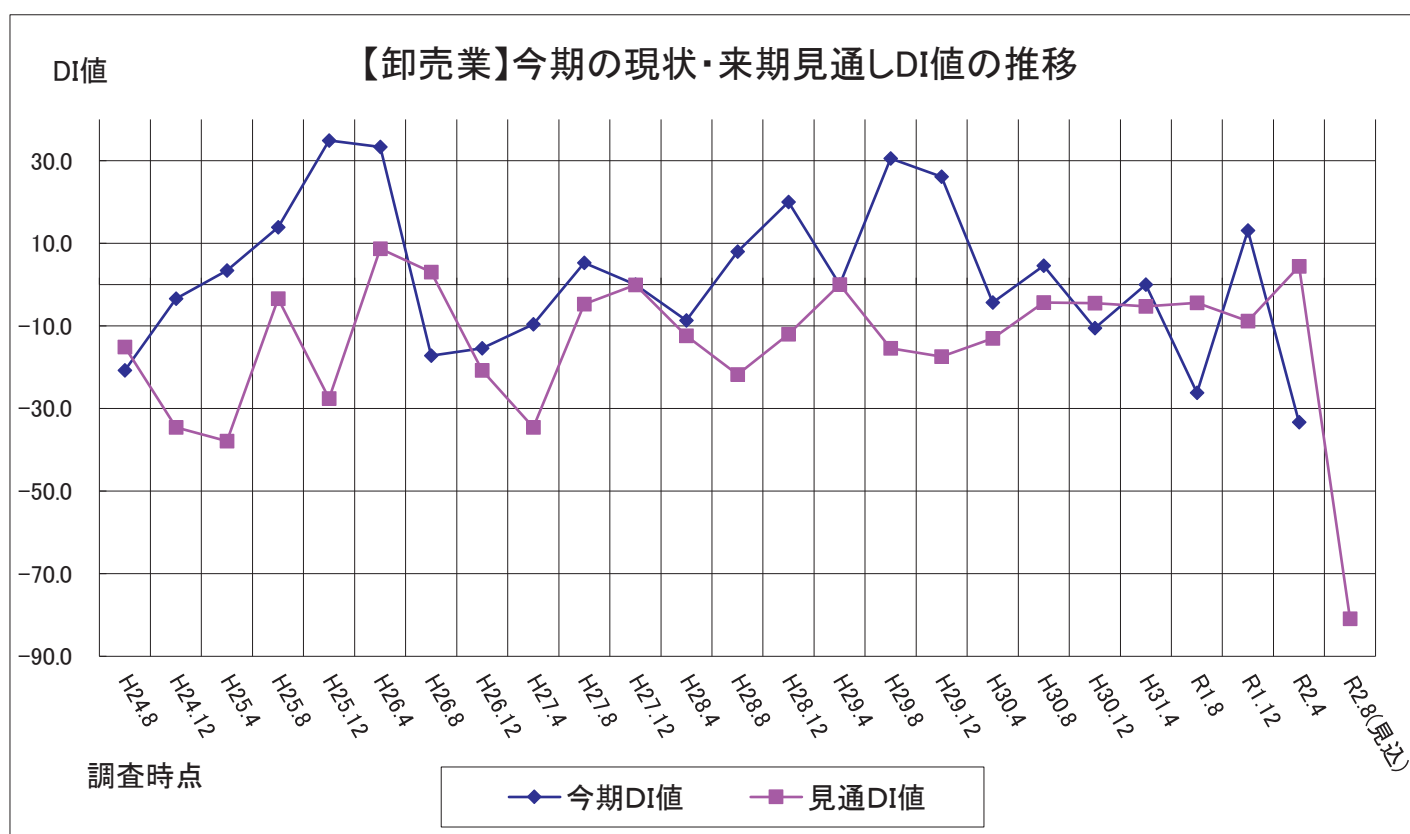
製造業

- ・今期D I 値は△34.8となり、前回より16.6ポイント、前年同期より26.5ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△62.7となり、今期より27.9ポイント悪化。



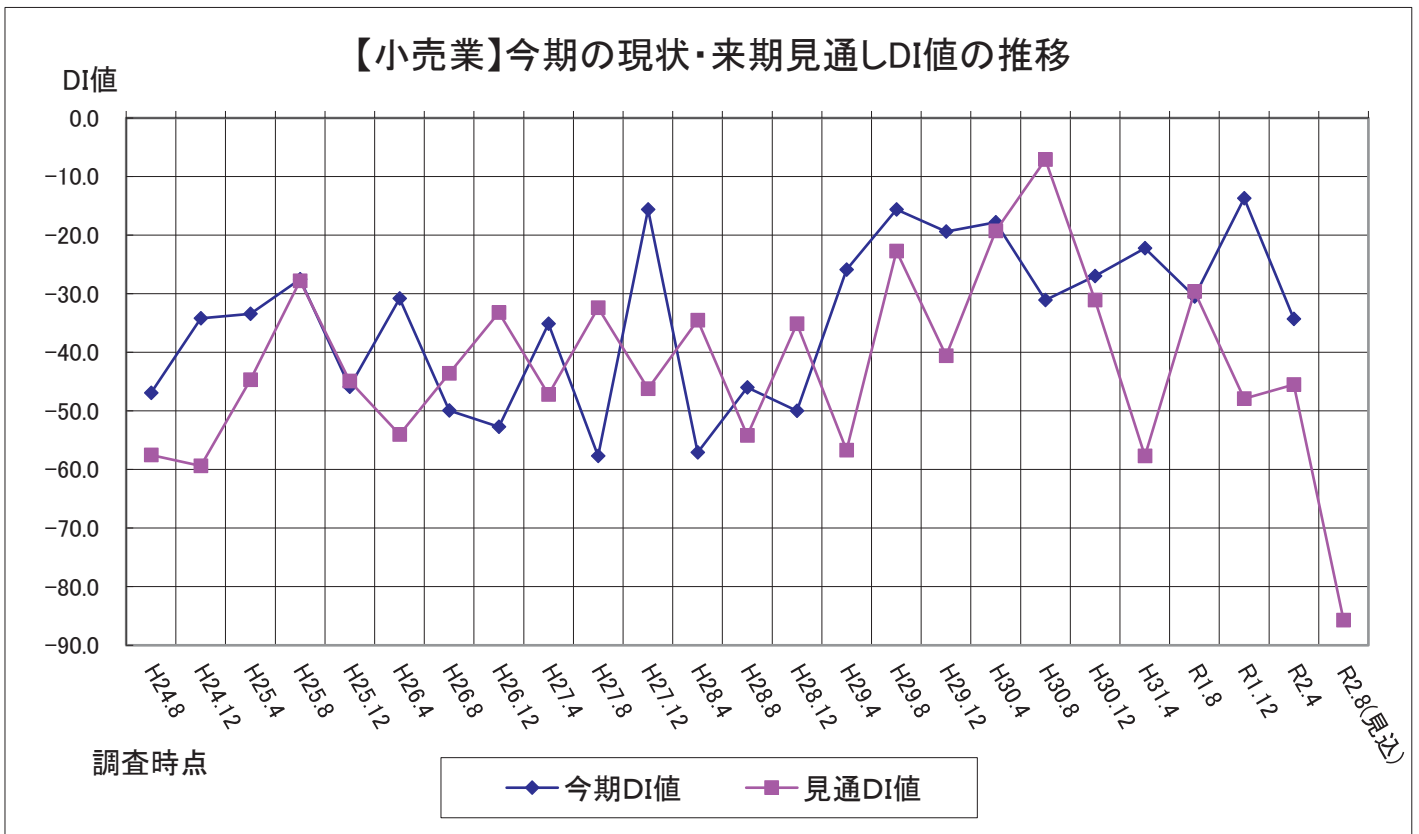
卸売業

- ・今期D I 値は△33.3となり、前回より46.4ポイント、前年同期より33.3ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△80.9となり、今期より47.6ポイント悪化。



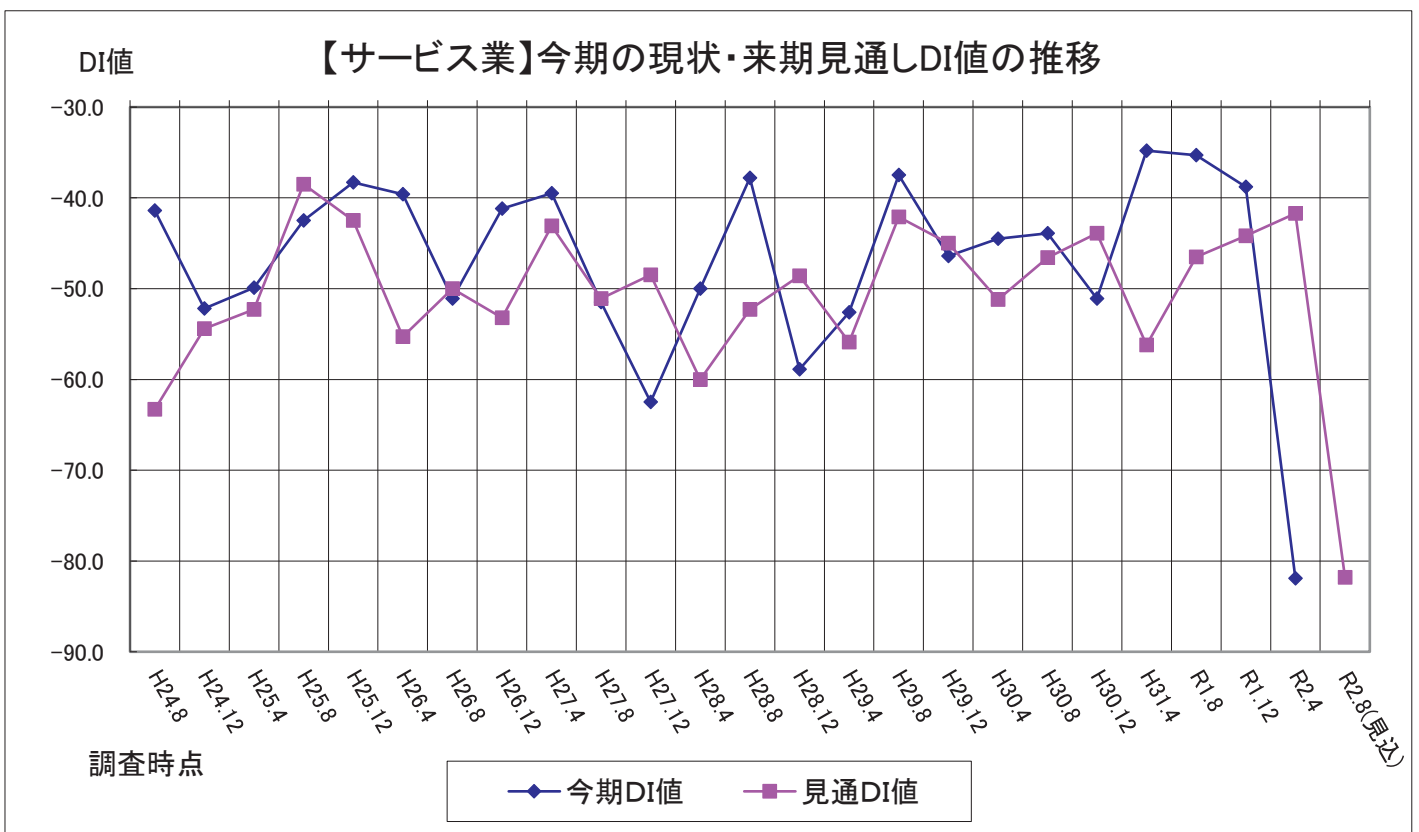
小 売 業

- ・今期D I 値は△34.3となり、前回より20.6ポイント、前年同期より12.1ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△85.7となり、今期より51.4ポイント悪化。



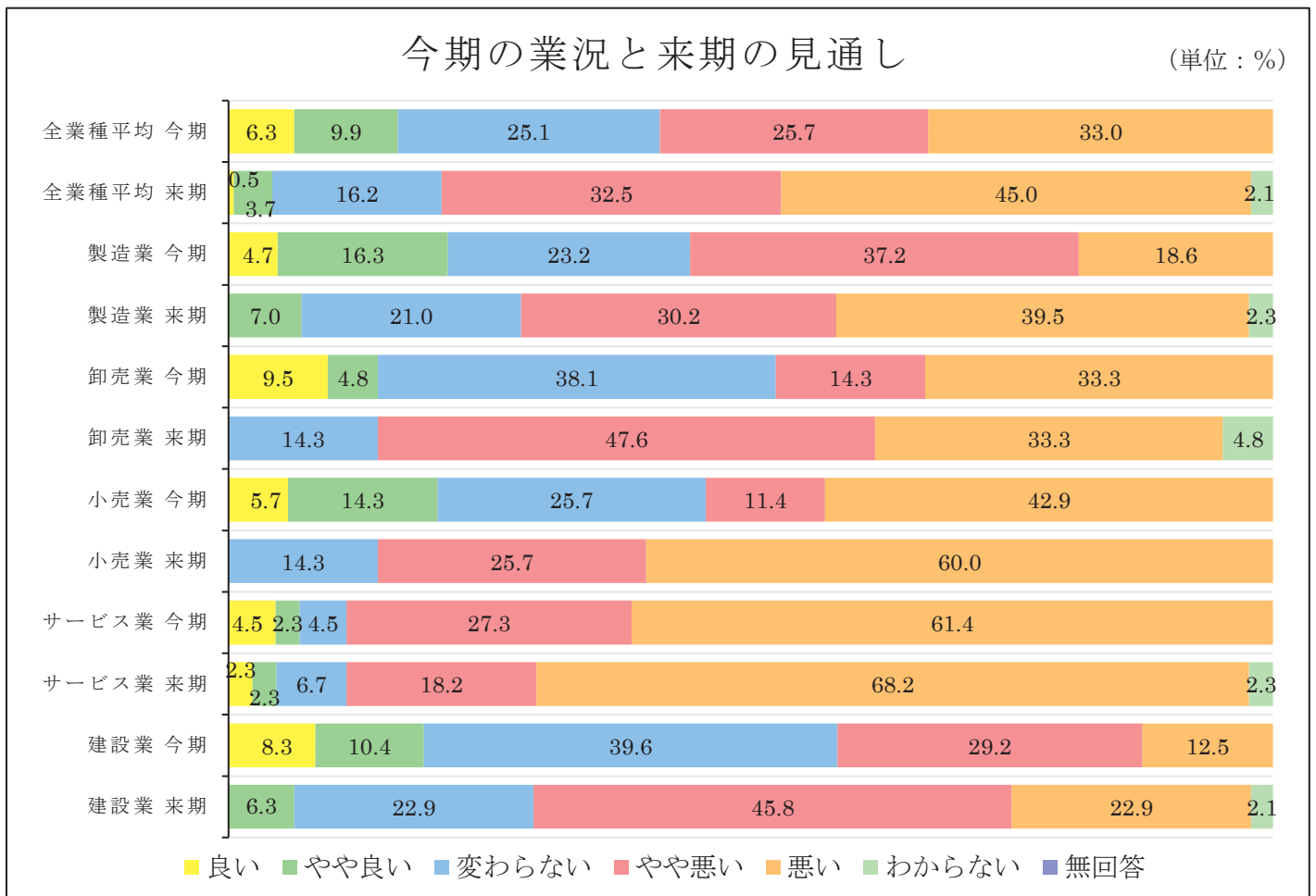
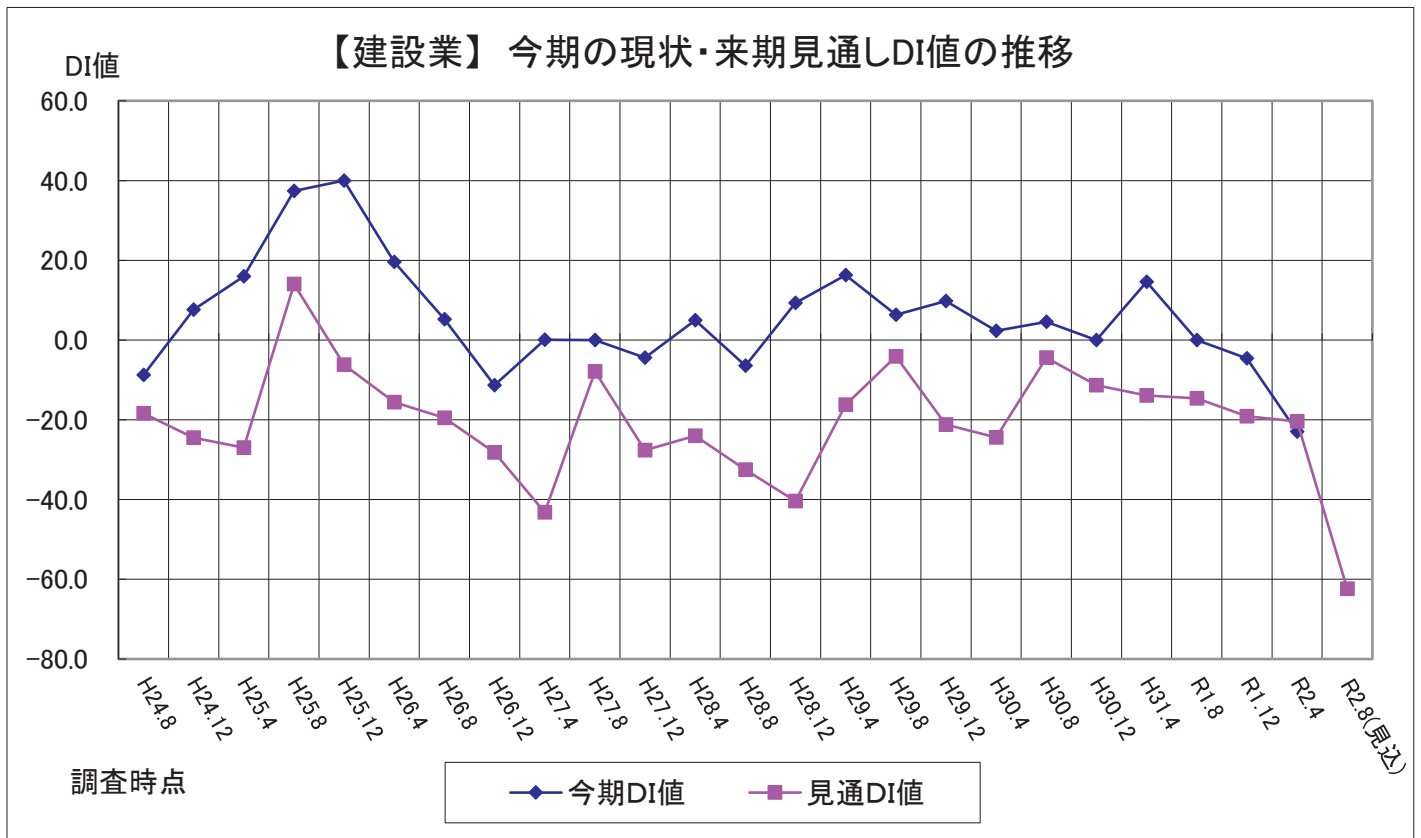
サービス業

- ・今期D I 値は△81.9となり、前回より43.1ポイント、前年同期より47.1ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△81.8となり、今期D I 値とほぼ同水準。



建設業

- ・今期D I値は△23.0となり、前回より18.4ポイント、前年同期より37.6ポイント悪化。
- ・来期D I値は△62.4となり、今期より39.4ポイント悪化。



3. 売上状況

全業種平均

- ・今期D I値は△46.6となり、前回より35.4ポイント、前年同期より34.4ポイント悪化。
- ・来期D I値は△72.7となり、今期より26.1ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I値は△34.8となり、前回より25.7ポイント、前年同期より32.7ポイント悪化。
- ・来期D I値は△60.4となり、今期より25.6ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I値は△23.8となり、前回より41.2ポイント、前年同期より15.1ポイント悪化。
- ・来期D I値は△81.0となり、今期より57.2ポイント悪化。

小売業

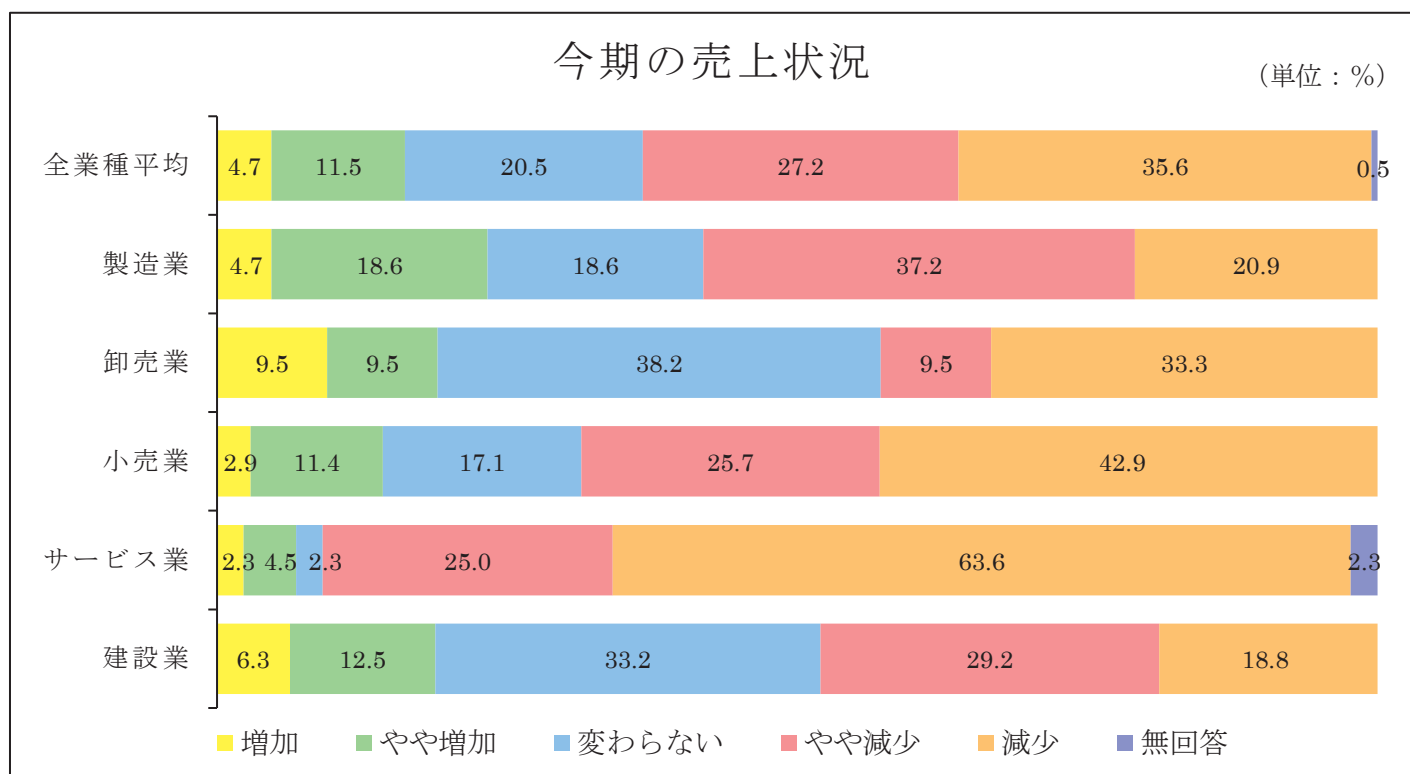
- ・今期D I値は△54.3となり、前回より40.6ポイント、前年同期より17.3ポイント悪化。
- ・来期D I値は△88.6となり、今期より34.3ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I値は△81.8となり、前回より45.7ポイント、前年同期より42.3ポイント悪化。
- ・来期D I値は△77.3となり、今期より4.5ポイント改善。

建設業

- ・今期D I値は△29.2となり、前回より22.4ポイント、前年同期より43.8ポイント悪化。
- ・来期D I値は△64.5となり、今期より35.3ポイント悪化。



4. 利益状況

全業種平均

- ・今期D I 値は△41.2となり、前回より27.0ポイント、前年同期より19.0ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△72.3となり、今期より31.1ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I 値は△25.6となり、前回より14.2ポイント、前年同期より6.9ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△55.9となり、今期より30.3ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I 値は△33.3となり、前回より28.9ポイント、前年同期より20.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△80.9となり、今期から47.6ポイント悪化。

小売業

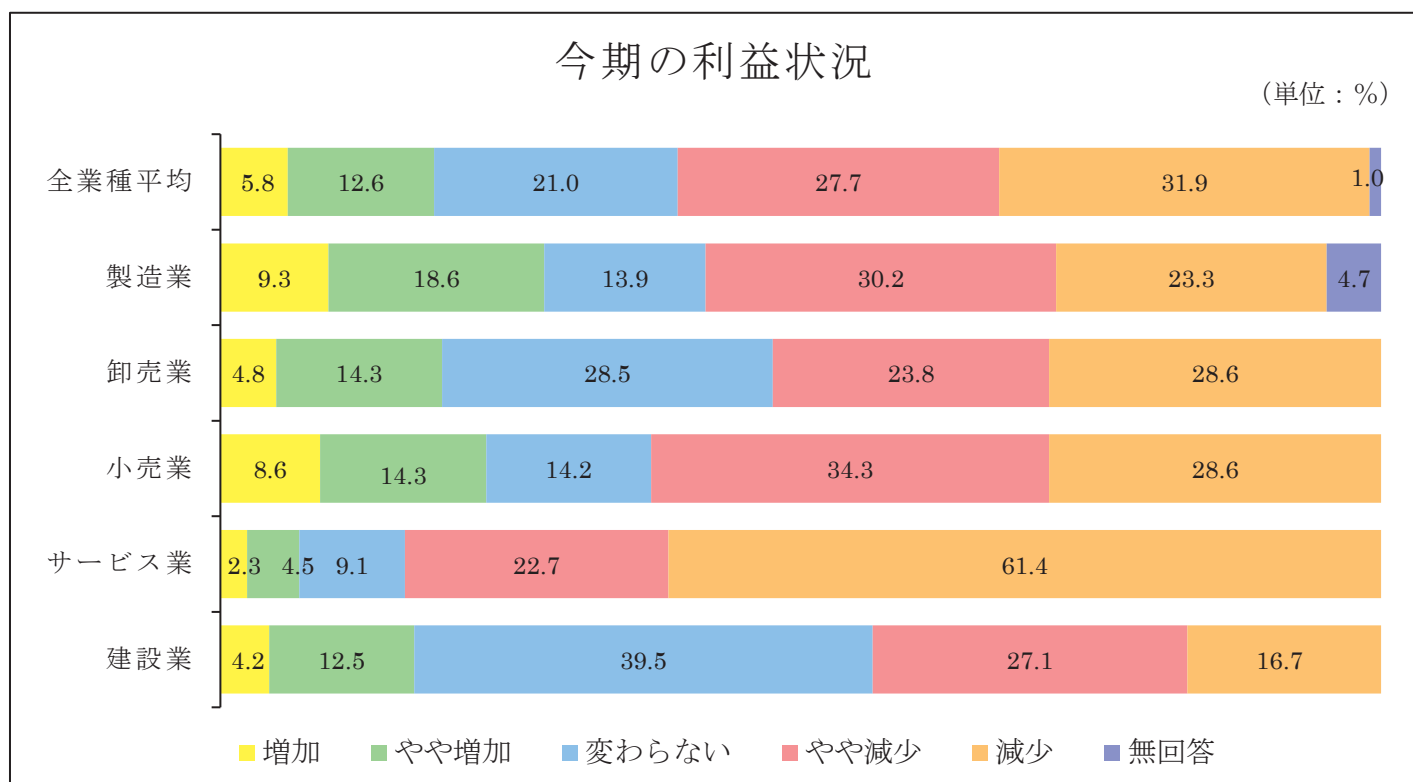
- ・今期D I 値は△40.0となり、前回より21.8ポイント、前年同期より3.0ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△82.9となり、今期より42.9ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I 値は△77.3となり、前回より32.9ポイント、前年同期より28.5ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△81.9となり、今期より4.6ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I 値は△27.1となり、前回より31.5ポイント、前年同期より29.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△66.7となり、今期より39.6ポイント悪化。



5. 資金繰り状況

全業種平均

- ・今期D I 値は△27.2となり、前回より24.9ポイント、前年同期より12.4ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△51.4となり、今期より24.2ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I 値は△7.0となり、前回より9.3ポイント悪化、前年同期より11.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△53.5となり、今期より46.5ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I 値は△23.8となり、前回より28.1ポイント、前年同期より15.1ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△47.5となり、今期より23.7ポイント悪化。

小売業

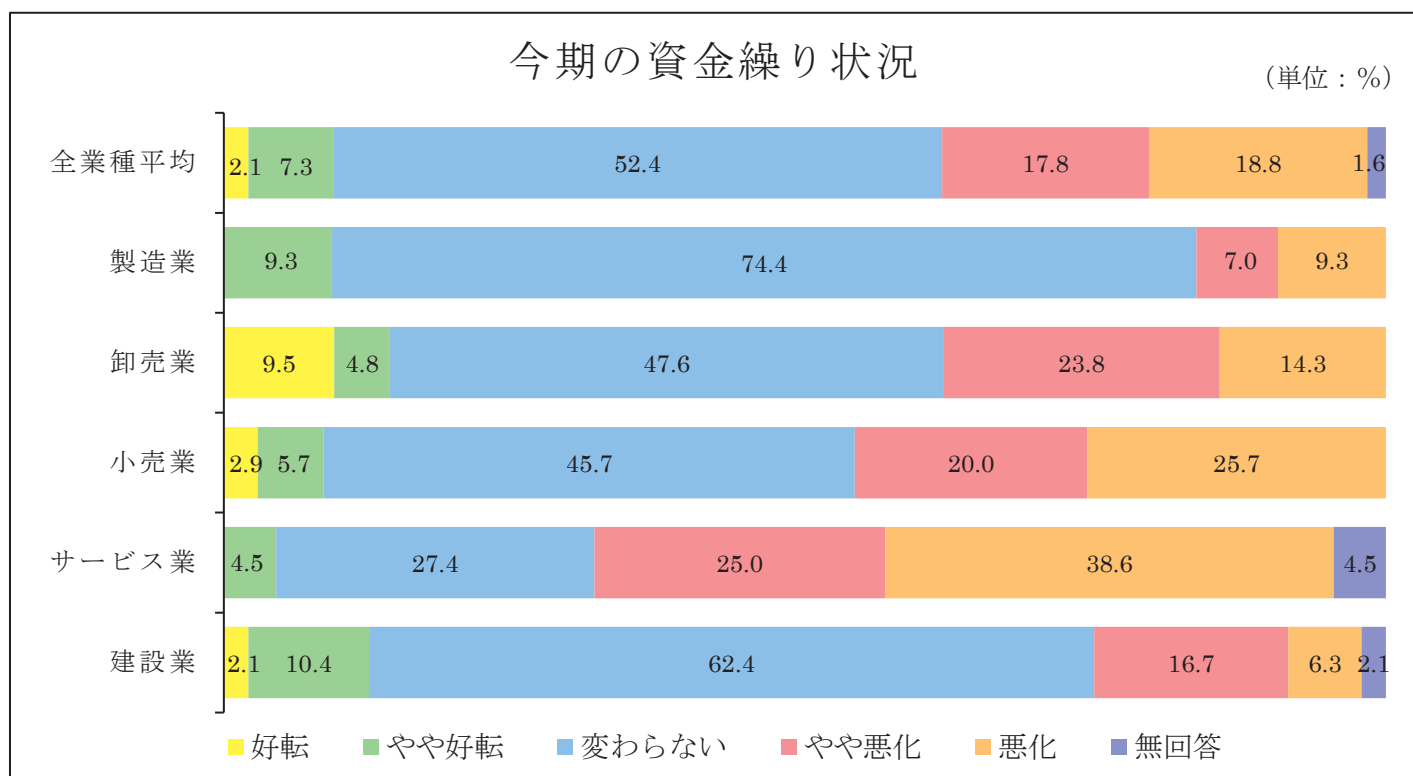
- ・今期D I 値は△37.1となり、前回より37.1ポイント、前年同期より29.7ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△54.3となり、今期より17.2ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I 値は△59.1となり、前回より31.4ポイント、前年同期より21.9ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△63.7となり、今期より4.6ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I 値は△10.5となり、前回より19.6ポイント、前年同期より12.6ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△37.4となり、今期より26.9ポイント悪化。



6. 設備投資状況

全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は24.1%となり、前回より7.9%減少、前年同期より2.4%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は17.8%となり、今期より6.3%減少。

製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は32.6%となり、前回より6.0%、前年同期より2.8%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は27.9%となり、今期より4.7%減少。

卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は19.0%となり、前回より28.8%減少、前年同期より1.6%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は14.3%となり、今期より4.7%減少。

小売業

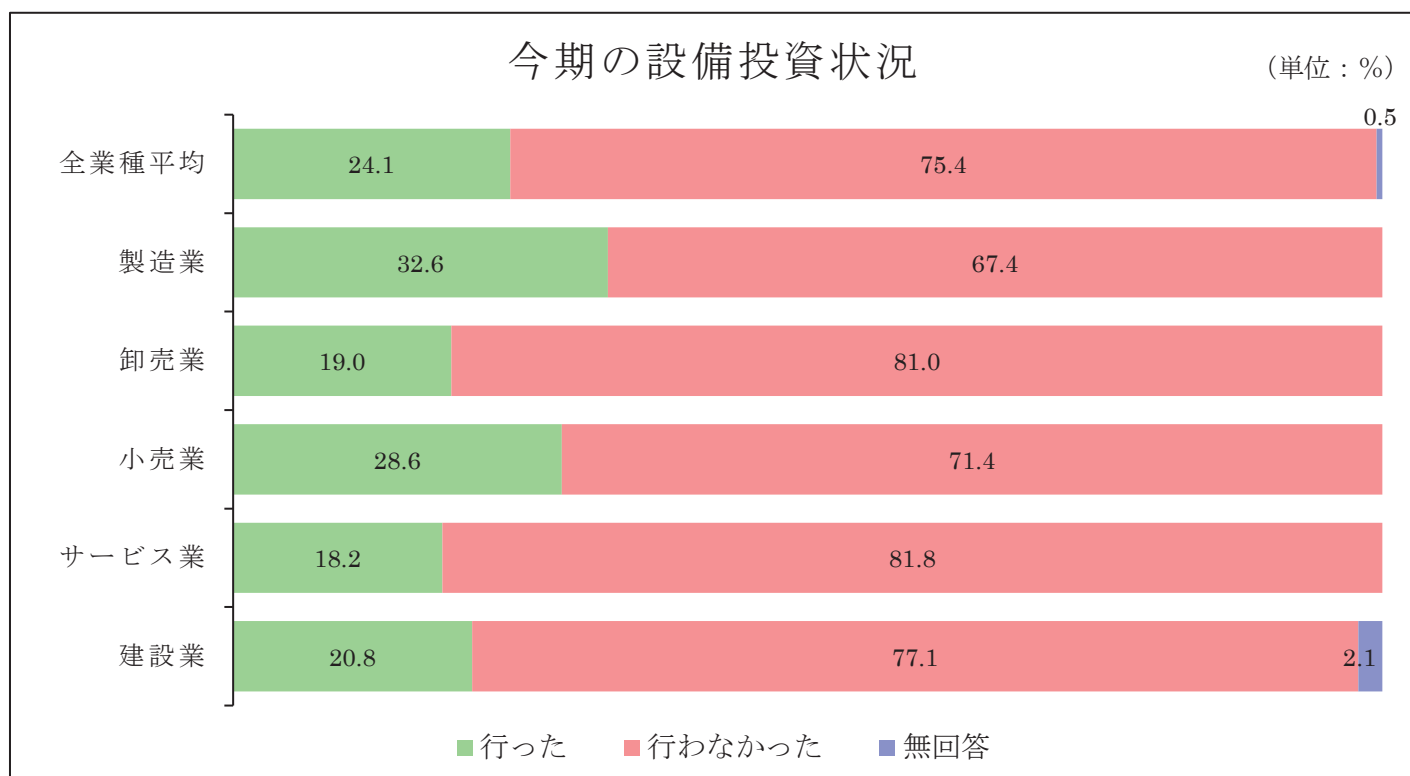
- ・今期に設備投資を行った割合は28.6%となり、前回より5.9%、前年同期より13.8%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は11.4%となり、今期より17.2%減少。

サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は18.2%となり、前回より1.2%減少、前年同期より6.6%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は9.1%となり、今期より9.1%減少。

建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は20.8%となり、前回より11.0%、前年同期より2.1%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は22.9%となり、今期より2.1%増加。



7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

全業種平均

- ・今期D I値は△24.0となり、前回より23.1ポイント、前年同期より21.5ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は24.6%となり、前回より5.6%減少。

製造業

- ・今期D I値は△16.7となり、前回より22.1ポイント、前年同期より32.0ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は37.2%となり、前回より3.7%減少。

卸売業

- ・今期D I値は0.0となり、前回より28.6ポイント、前年同期より41.0ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は14.3%となり、前回より7.4%減少。

小売業

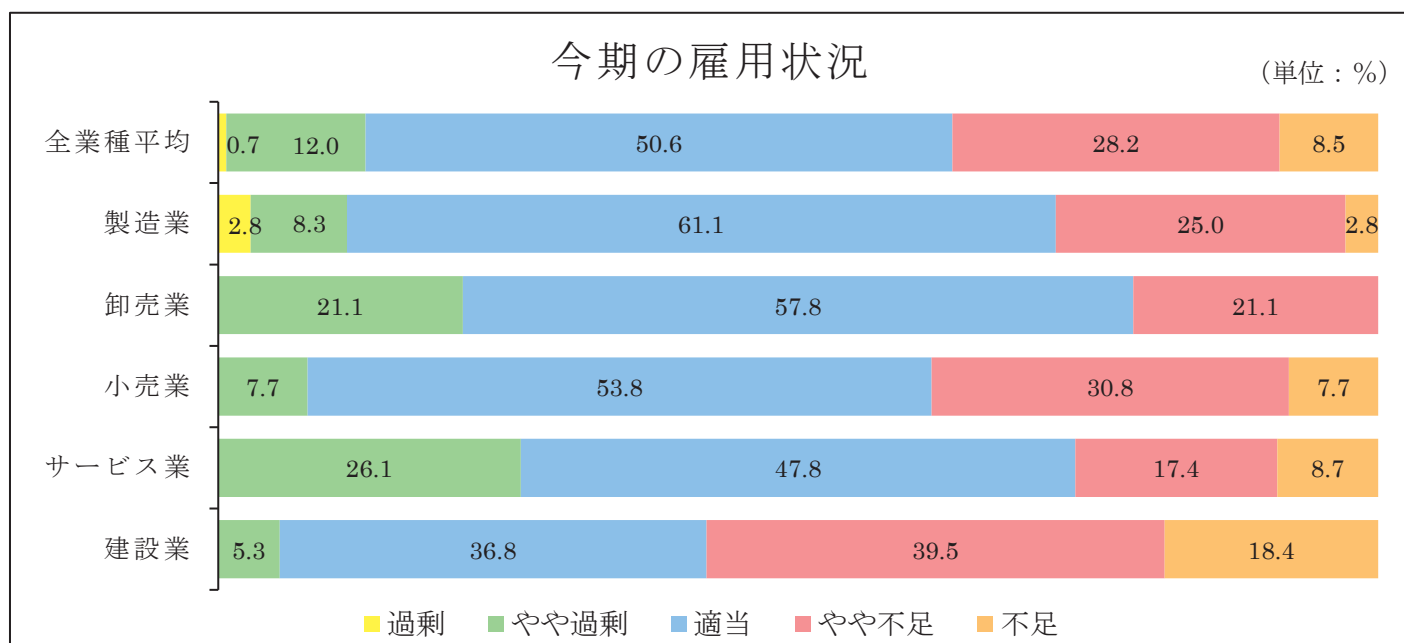
- ・今期D I値は△30.8となり、前回より7.3ポイント、前年同期より2.5ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は17.1%となり、前回より3.5%増加。

サービス業

- ・今期D I値は0.0となり、前回より44.4ポイント、前年同期より18.2ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は9.1%となり、前回より10.3%減少。

建設業

- ・今期D I値は△52.6となり、前回より18.4ポイント、前年同期より13.2ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は37.5%となり、前回より3.4%減少。



8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

全業種平均

- ・「受け入れている」企業は3.2%となり、前回より0.9%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は4.8%となり、前回より4.7%減少。

製造業

- ・「受け入れている」企業は7.0%となり、前回より2.5%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は7.0%となり、前回より6.6%減少。

卸売業

- ・「受け入れている」企業は無く、前回より4.3%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は4.8%となり、前回より3.9%減少。

小売業

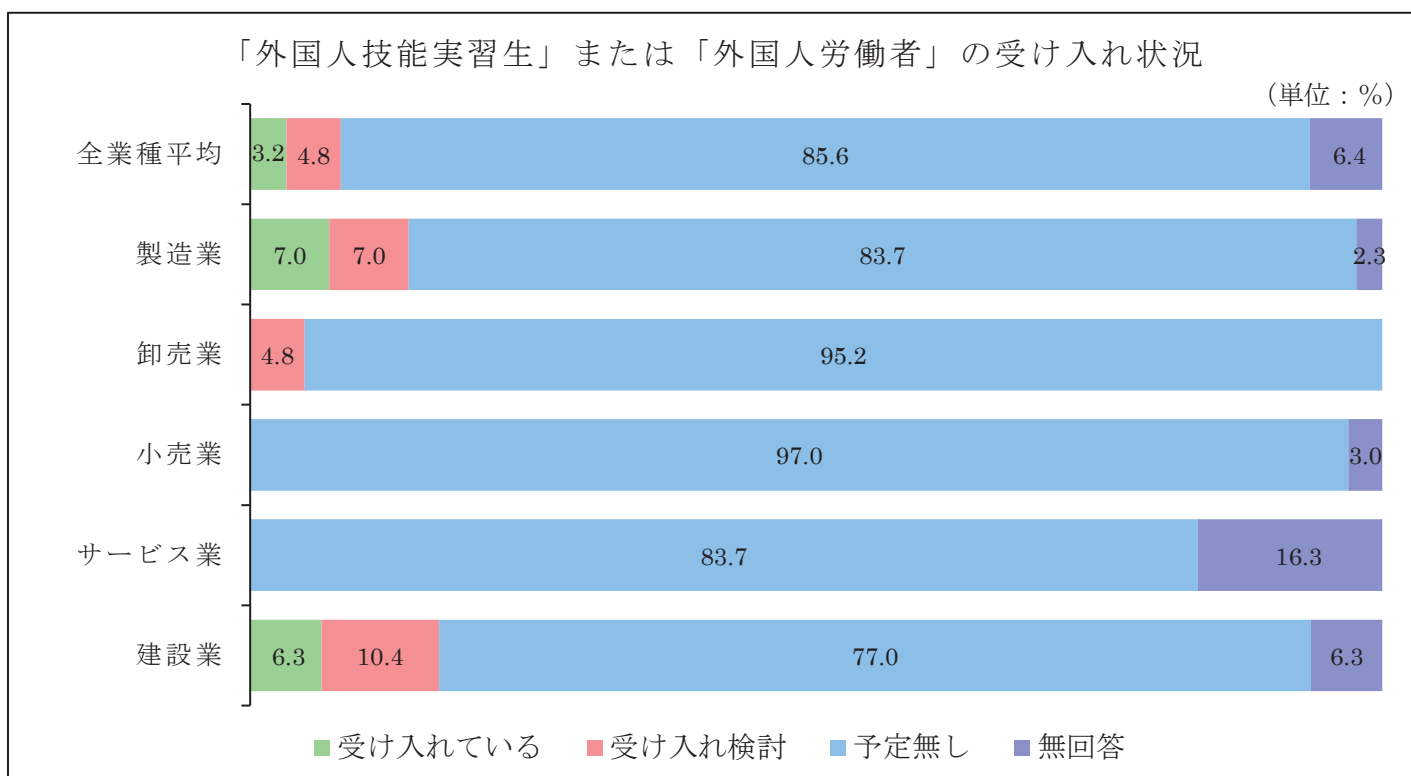
- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は前回に引き続き無し。

サービス業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は無く、前回より2.8%減少。

建設業

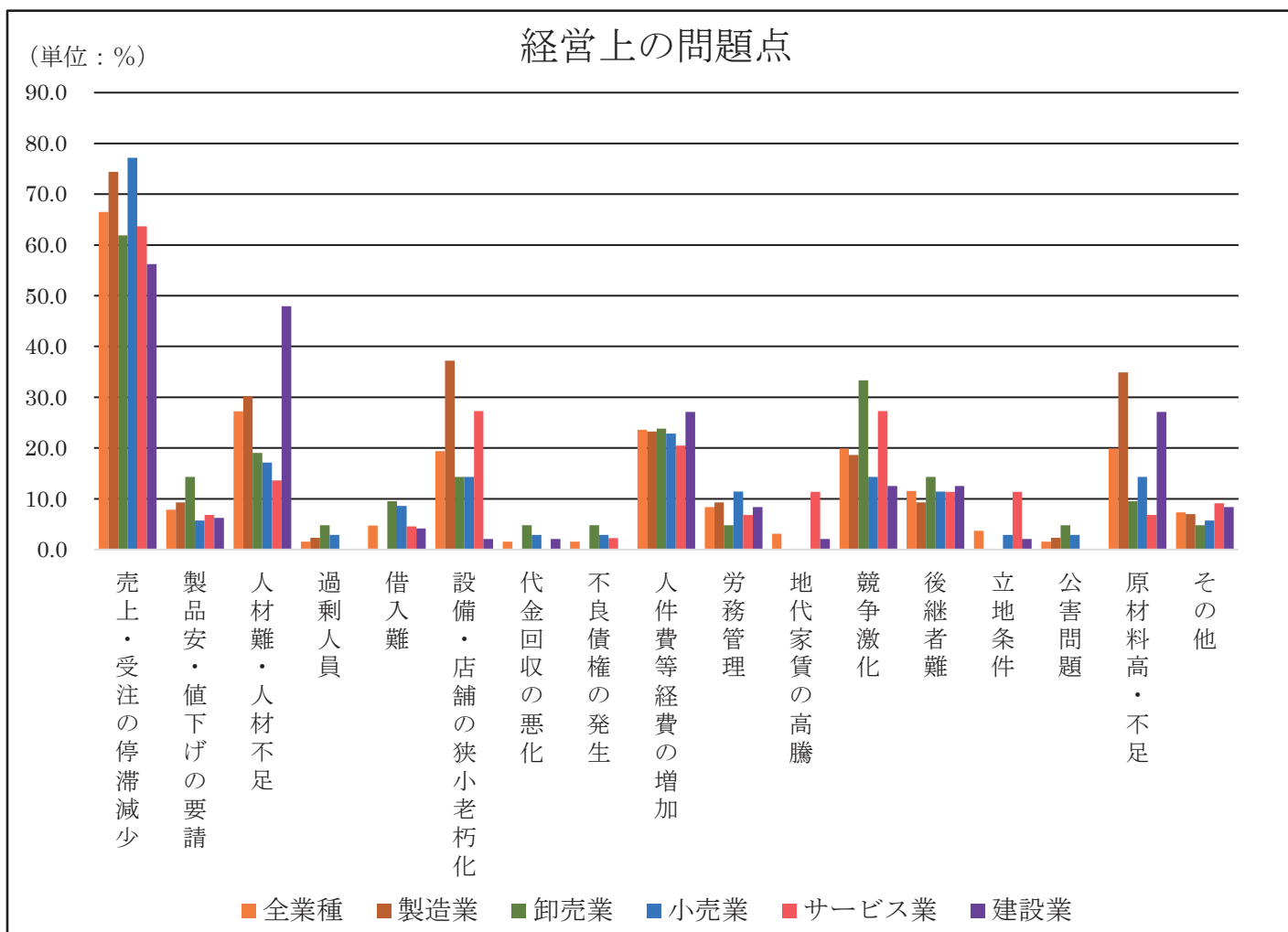
- ・「受け入れている」企業は6.3%となり、前回より2.8%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は10.4%となり、前回より5.5%減少。



9. 経営上の問題点

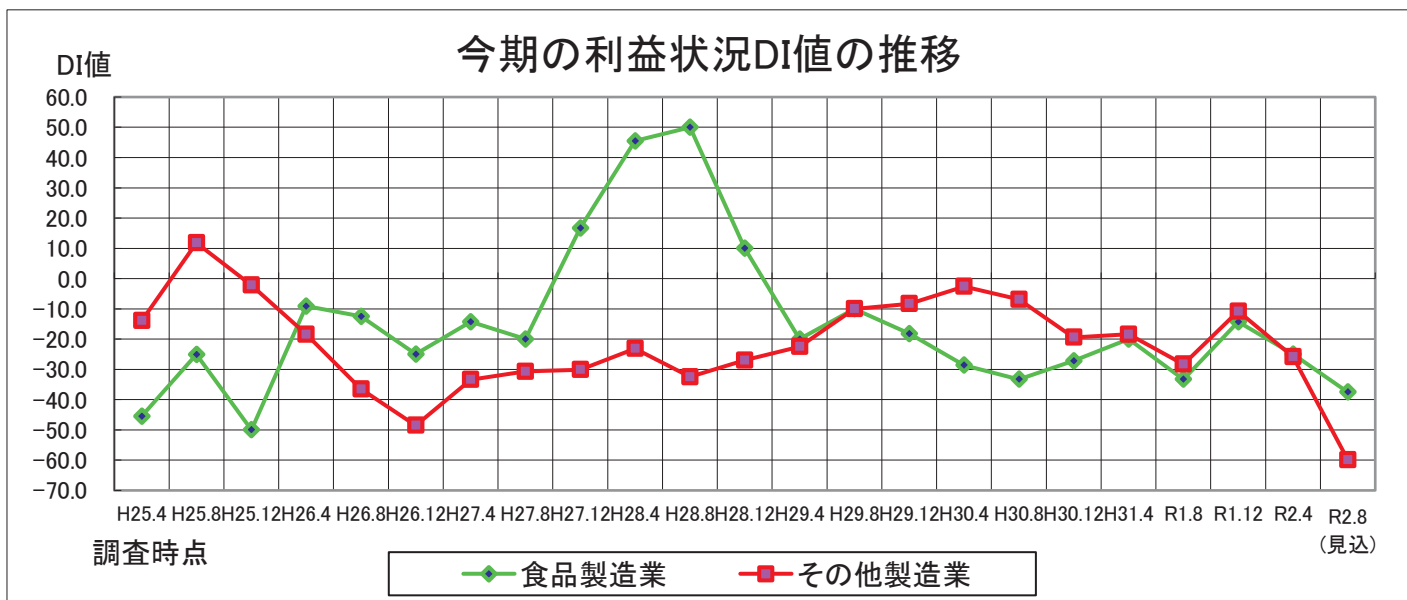
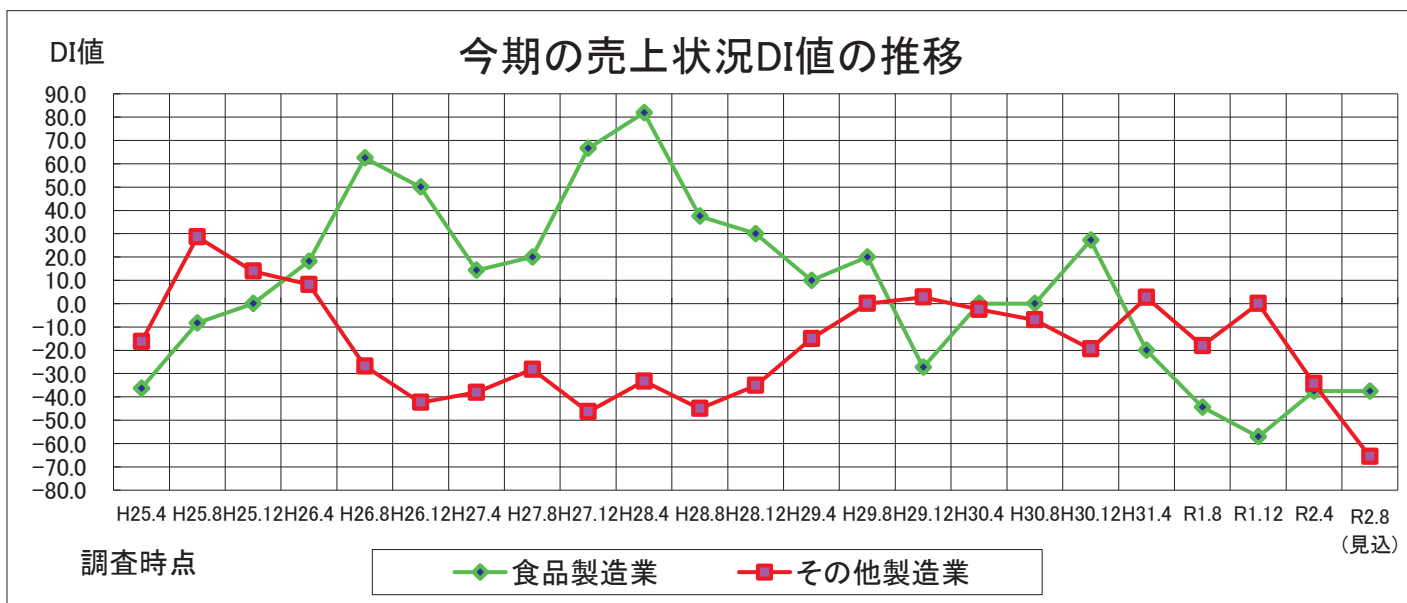
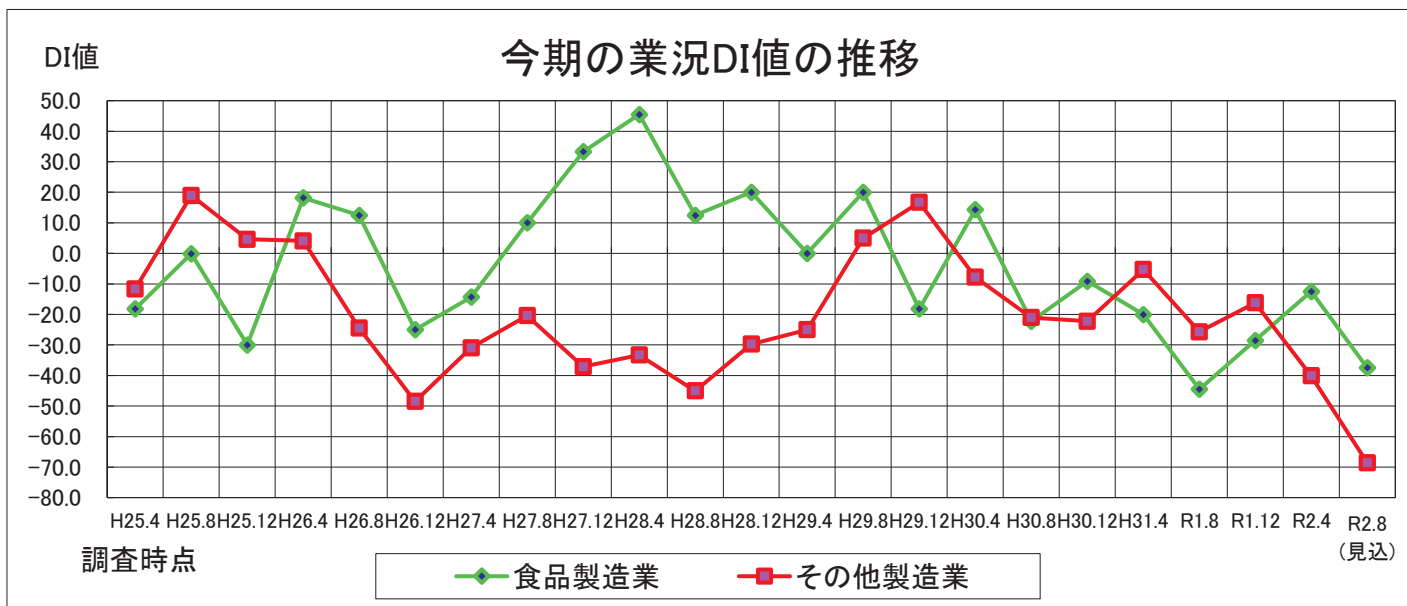
- ・全業種平均では「売上・受注の停滞減少」が66.5%と全体を通じて最も高く、次いで「人材難、人材不足」が27.2%、「人件費等経費の増加」が23.6%と高い割合となっている。
- ・「その他」の意見として、「新型コロナウイルス感染症による売上減少・先の見通しに対する不安」「人材の高齢化」「社会保障費の負担」「最低賃金の上昇」などに苦慮する声が聞かれた。
- ・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	売上・受注の停滞減少 (74.4%)	設備、店舗の狭小老朽化 (37.2%)	原材料高及び不足 (34.9%)
卸売業	売上・受注の停滞減少 (61.9%)	競争激化 (33.3%)	人件費等経費の増加 (23.8%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (77.1%)	人件費等経費の増加 (22.9%)	人材難・人材不足 (17.1%)
サービス業	売上・受注の停滞減少 (63.6%)	設備、店舗の狭小老朽化 競争激化 (27.3%)	人件費等経費の増加 (20.5%)
建設業	売上・受注の停滞減少 (56.3%)	人材難・人材不足 (47.9%)	人件費等経費の増加 原材料高及び不足 (27.1%)

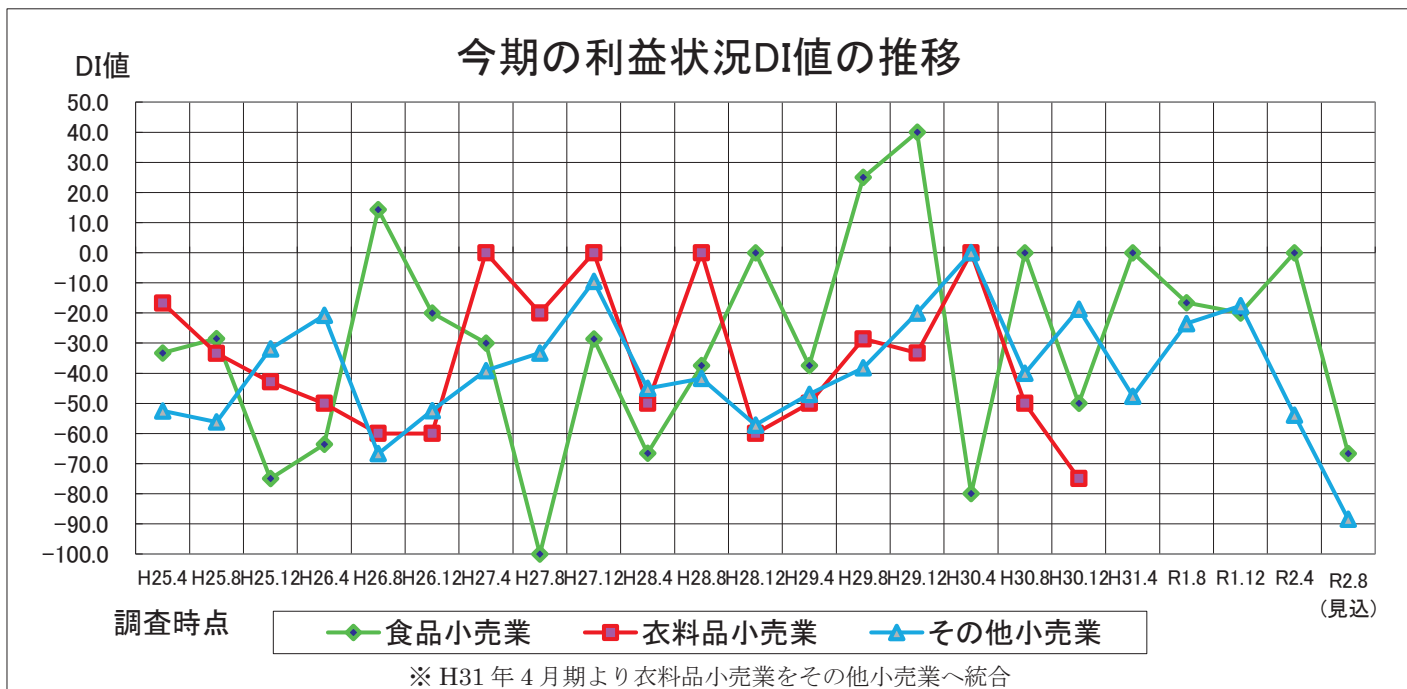
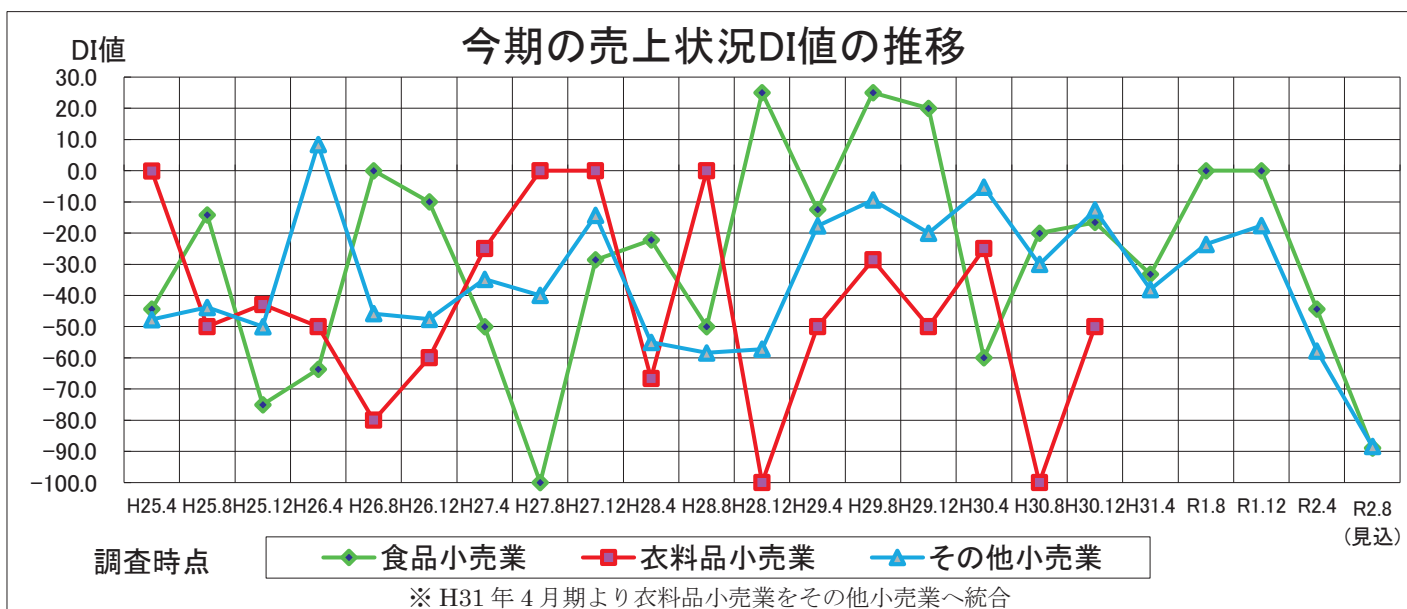
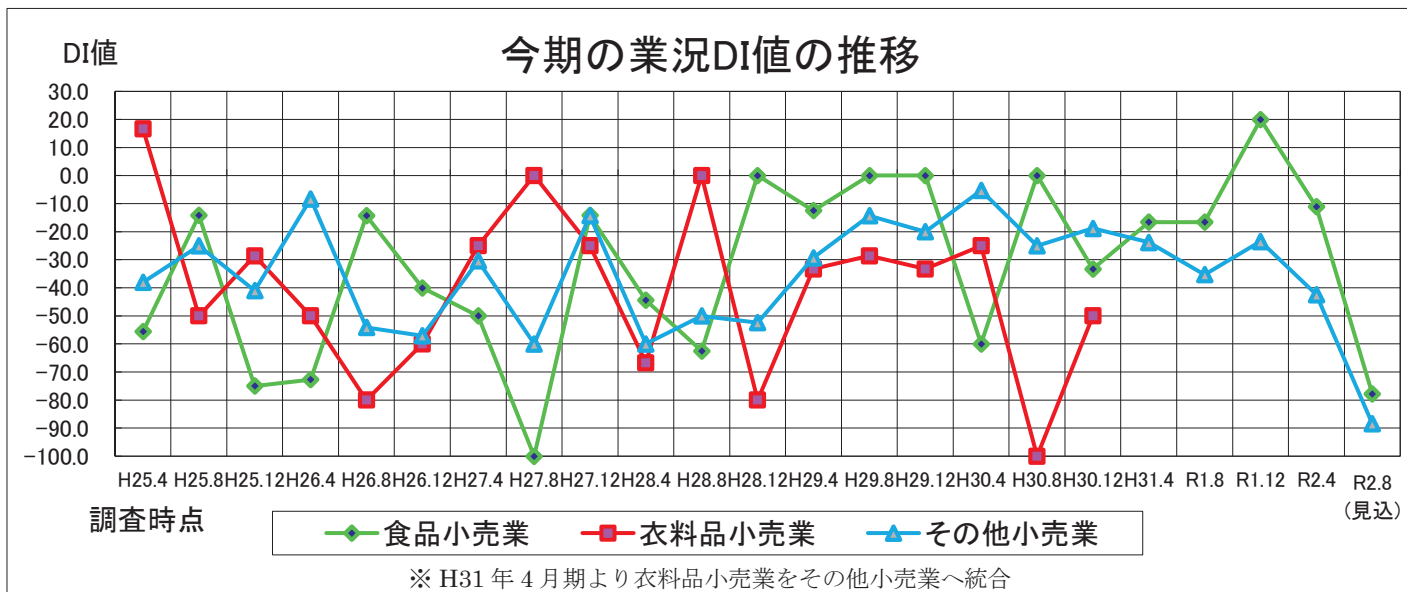


Ⅲ 業種別参考資料

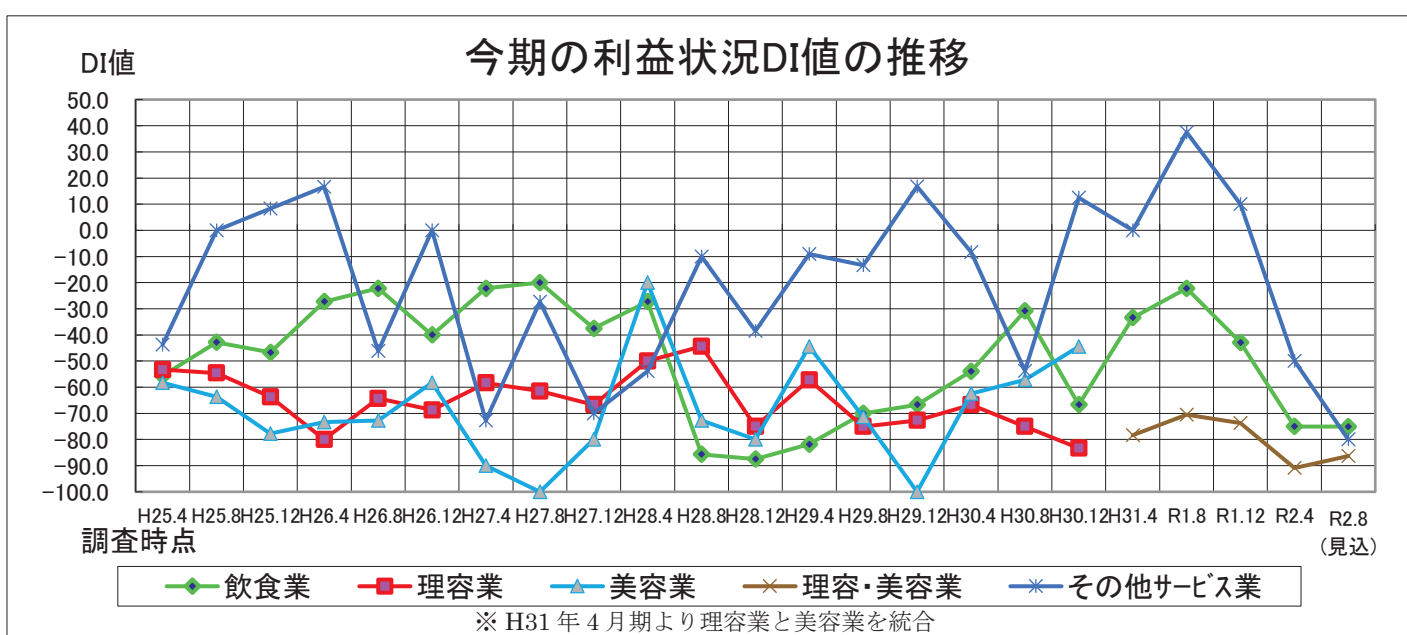
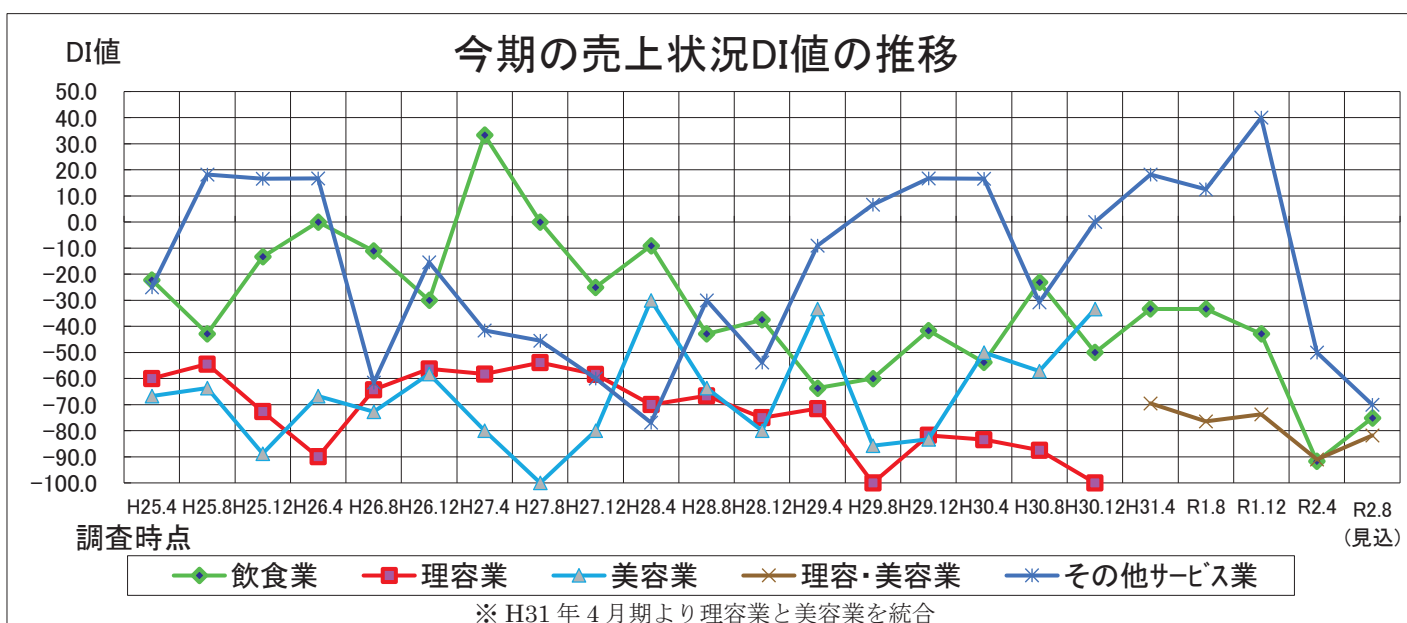
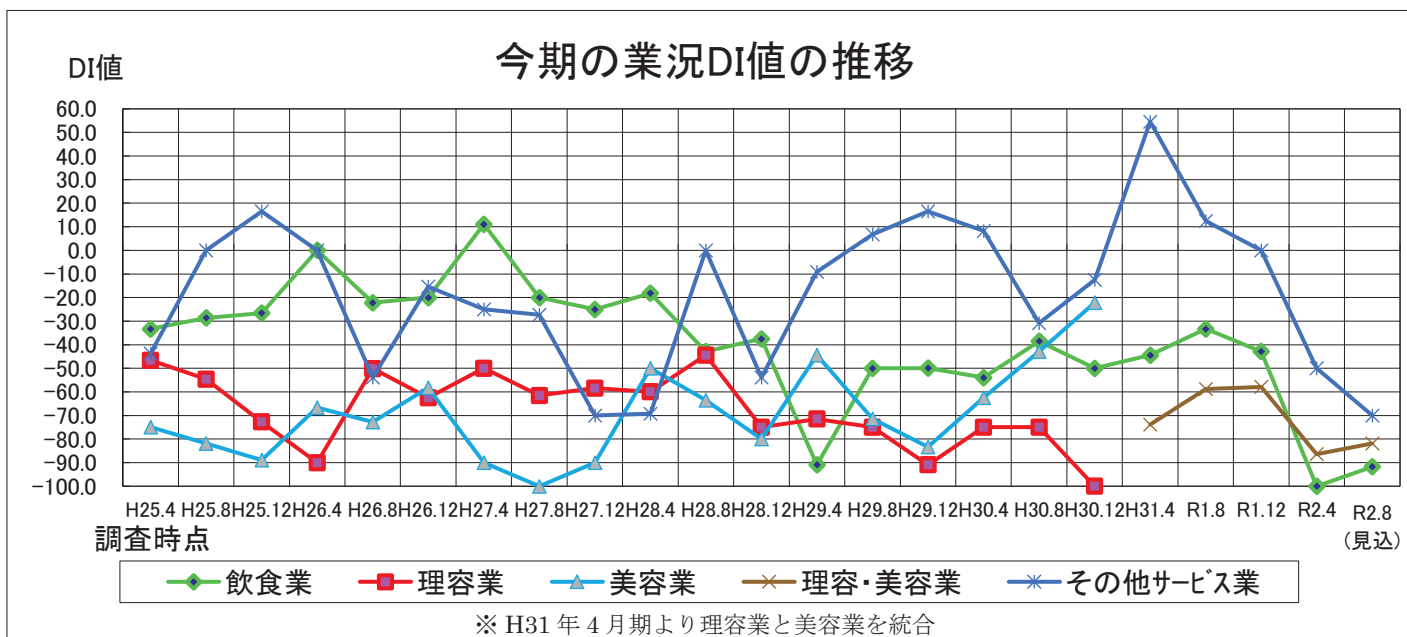
1. 製造業



2. 小売業



3. サービス業



4. 建設業

